# がなに対すしい。

~バリアフリー・ユニバーサルデザインってなんだろう?~

まちには、いろいろな人が暮らしています。

ふだん、当たり前に感じることでも、お年寄りや ゆまう 障がいのある方にとっては、ちょっとしたことが 「バリア」になることがあります。

「みんな」にやさしいまちをつくるために何がで きるか 考 えてみよう!



令和4年11月 (一部改訂) 綾瀬市

#### バリアフリーとユニバーサルデザインってなんだろう



#### 「バリアフリー」とは?

みんなが行きたいところに自由に気持ちよく行けるように、不自由さや 不便さ(バリア)をとり除いて(フリー)、暮らしやすいまちを作ること。

・・・そして1番大事なことは、まちにはいろいろな人が暮らしていることを知り、みんなの気持ちをわかり合い、助け合う心を持つことです。

#### では「ユニバーサルデザイン」とは?

最初から、年齢や性別、体力や障がいのあるなしに関係なく、どんな 人でも(ユニバーサル)使いやすくわかりやすいように、まちや身の回 りのものを作る(デザインする)という考え方です。



つまり、バリアフリーは
「今あるバリアをなくす」こと。
ユニバーサルデザインは、
「はじめからバリアを作らないようにする」ことなのです!

## めざそう!『こころのバリアフリー』

~ちょっとした気づかいやお手伝いできもちよく~

#### まずできることは

# 『ゆっくり、はっきり、笑顔で』

困っている人に会ったら声をかけてみよう。

- ① 手伝えることがあるか、聞いてみよう。
- ② 相手の様子に合わせて、話をよく聞こう。
- ③ 説明は、ゆっくり、はっきり、ていねいに話そう。
- ④ 相手の立場になった気持ちで考えよう。
- ⑤ ひとりで難しいときは、周りの人と協力しよう。

# 草いすの方がいたら

『入れない・通れない・利用できない』をなくそう

- ① 手動のドアは声をかけて進んで開け閉めをしよう。
- ② スロープや段差は、車いすを押す手助けをしよう。
- ③ エレベーターでは、障がいのある方やお年寄りを優先しよう。
- ④ 草いすの方は高いところには手が届きません。代わりに 取って手渡すなどの心づかいをしよう。





# **曽の不自由な方がいたら**

首の不自由な方は、間りの状況を視力以外に頼って判断しています。**まずは手助けが必要か聞いてみよう。** 

- ① 目的の場所まで誘導しよう。腕や肩に手をおいてもらい、 もくてき はしょ あんない 目的の場所まで案内しよう。
- ② お店などでは商品などイメージできるように特徴をわかり やすく説明しよう。
- ③ 交差点の信号や、非常口などは相手の首となって位置や色を確認して知らせよう。

もうじん 〔盲人のための国際シンボルマーク〕

# きこえの不曽由な方がいたら

文字などを使って、わかりやすく伝えよう。

- ① 話しかけるのではなく、紙などに書いて伝えよう。内容は短 く、わかりやすくしよう。
- ② 手話や指文学ができなくても、表情やジェスチャーで相手に伝えよう。
- ③ 大きな声で話しかけるのではなく、ゆっくり、はっきりと言葉を区切りながら話そう。





# まちの中では!

#### ~こんなところにバリアフリー・ユニバーサルデザイン~

みんなが暮らしやすく動きやすくするために様々な工夫がしてあります。

# ○点字ブロック | バリアフリー

点字ブロックは、自の不自由な方が安全に移動するための大事な「道しるべ」です。 道路や建物の中など、様々な所に設置されています。

# ☆ 点字ブロックの上には自転車など物を置くようなことは絶対にやめましょう。





#### 



本いすが入りやすいように、出入口 やトイレ内も広く作られています。

また、ベビーベッドやオストメイト も設置されています。

☆必要な人がいつでも使えるようにゆずりあいましょう。

### 

音の出る信号機を「音響信号機」といいます。自の不自由な方が安全に横断 歩道を渡るために設置されています。

最近では、わかりやすく絵(ピクトグラム)がつき、ボタンも大きいタッチ式スイッチの設置がはじまっています。



サハレセー៵ッラ 警視庁HP「信号機のバリアフリー」より

#### **○エレベーター・スロープなど|バリアフリー・ユニバーサルデザイン**



(章いすの方やベビーカーを押している方、校を使っている方などが楽に移動できるように、エレベーターやスロープが作られています。

エレベーターの中には自の不自由な がたがさわってわかる開閉ボタンなど、 をまざま 様々な工夫がされています。

また、駅などでエレベーターが無い場合に、階段に車いす昇降機が設置されていることもあります。



「平成30年度版障害者白書」より



#### 〇わかりやすい案内板 | バリアフリー・ユニバーサルデザイン

市役所などの案内板は、子どもからお年寄りまでみんなにわかりやすいように、色や形などを考えて作られています。

自の不自由な方のために作られた点字案内版や、音で案内できる 表言をあります。また、耳の不自由な方にもわかりやすいよう、文字で案内する電光掲示板があります。



# 〇電車やバスの優先席 | バリアフリー・ユニバーサルデザイン

電車やバスには優先席があります。 をこれである。 をこれでる。 をこれでも、 を、 を、 を、 を、 を、 

その蓆を必要としている犬が策軍 してきたら、ゆずるようにしましょ う。

また、現在、電車には1編成に1か が以上、車いす専用のスペースが設 けられています。



「ヘルプマーク」

外見からわからなくても、助けを必要としている方が、周りの人に知らせ、助けてもらいやすくするために作られたマークです。

# ○車いす用駐車スペース | バリアフリー

市役所や保健福祉プラザ、スーパー、公園 など多くの人が利用する場所には車いす用 の駐車スペースが整備されています。

ここでしか乗り降りできない人がいることを理解し、大切にしましょう。





#### 『みんなにやさしいまちづくりをめざして』

平成27年3月発行•平成30年11月一部改訂•令和4年11月一部改訂

製作•発行 綾瀬市役所福祉部福祉総務課

〒252-1192 神奈川県綾瀬市早川550番地

TEL: 0467-70-5613 (直通)

E-Mail: wm.705613@city.ayase.kanagawa.jp